

# 会 議 記 録

名 称	中央区スポーツ推進審議会	
開催年月日・場所	令和6年2月19日（月曜日）	
	午前10時00分から午前10時45分まで 中央区役所本庁 8階 第5会議室	
出席者の氏名	委 員	(出席委員) 近藤 智靖（会長）、坂 なつこ（副会長）、田崎 篤、山主 英樹、木本 慎一、森田 俊秀、仁井田 孝春、濱田 徹、生島 憲、浮津 健史、平松 功治、箕輪 恵美
	区側出席者	鎌田スポーツ課長、石川体育施設係長、籠山スポーツ事業係長、中牟田主事
配付資料	1 令和5年度第2回中央区スポーツ推進審議会次第 2 議題資料 (1) 主なスポーツ関連事業の令和5年度実施結果及び令和6年度予定について	
議事の概要	1 開会 2 委員委嘱 3 会長・副会長選任 4 議題 (1) 主なスポーツ関連事業の令和5年度実施結果及び令和6年度予定について (2) その他 5 閉会	
審議の経過	別紙のとおり	

# 令和5年度第2回スポーツ推進審議会会議録

令和6年2月19日  
午前10時00分～10時45分  
中央区役所本庁8階  
第5会議室

## 1 委 嘱

- 事務局（スポーツ課長）から委嘱説明

## 2 会長・副会長選任

- 事務局（スポーツ課長）からスポーツ推進審議会委員の紹介
- 委嘱後初の審議会になるため、互選により、会長が近藤智靖委員に決定
- 会長決定後、議事進行を事務局（スポーツ課長）から会長へ移行
- 互選により、副会長が坂なつこ委員に決定

## 3 開 会

- 会長から開会の宣言
- 会長が、委員の定足数を満たし、本日の会議が有効に成立していることを報告

## 4 議 題

(1) 主なスポーツ関連事業の令和5年度実施結果及び令和6年度予定について

- 事務局（スポーツ課長）から主なスポーツ関連事業の令和5年度実施結果及び令和6年度予定について報告

(主な報告・意見・質問の内容)

ー平松委員ー

- ・ 「スポーツの楽しさ発見事業」について、令和5年度実績を見ると応募者数が多いにもかかわらず当選者数に対して参加者数が少なく、もったいないように感じる。

ースポーツ課長ー

- ・ 急な予定のキャンセルや当日キャンセルなどでそういった形になってしまっている。それを踏まえて実は当選者数も2部構成で各回定員30名のところ、当選者全員が来ても対応できる人数を講師と調整し、例えば、かけっこについては、実際の当選者数を合計70名に設定している。また、令和4年度からの事業のため、今後の実績を踏まえた調整を考えていきたい。

ー森田委員ー

- ・ 小学校の会議にも出席している中で、数年前から言われていることだが、東京都の子どもたちの投げる力が全国平均と比較して低くなっている。その場の意見として、昔、昭和の時代は小学生が野球やキャッチボールを自由にできる場所があったが、現在は公園での野球やキャッチボールが禁止されていることや、学校生活での雑巾やタオルを絞ること、また、重い荷物を持たないことなどで、投げる力や基礎力を養う場がなかなかないという話があった。私としても残念だという印象がある。

－近藤会長－

- ・ 私は学校体育が専門で、小さい子や高齢者の方がいる公園でボールを使用できない現状を踏まえると、学校教育の中でカバーせざるを得ないと考えている。結果的に子どもたちの運動能力が非常に低い状態の中からスタートすることから、学校への期待が高まる中で、先生に対し非常に負担がかかる状況になっている。また、運動の力は楽しく反復して行う中で非常に伸びていくことも実証済みである。こうした中で学校や地域でどのようにしていくか考えていく必要があると考えている。

－濱田委員－

- ・ 今の公園の使用方法の中でキャッチボールなどのニーズがあるので、スモールスタートだが、来年度から学校の校庭開放を活用して何日かキャッチボールをできる日を設ける。今後の様子を踏まえ需要が多ければ拡大していくことも検討している。

－生島委員－

- ・ 中央区の子どもの体力テストの結果について、柔軟性以外は、全国平均や東京都平均と遜色がない。ただし、森田委員がおっしゃるように特にデータを示せるわけではないが、おそらく昭和の子どもたちに比べると運動等の機会は落ちる部分を感じる。濱田委員からもあったとおり、これから校庭開放で自転車の練習やキャッチボールができる環境を整えており、機会向上に繋がると良いと考えている。

－山主委員－

- ・ 私は地域スポーツクラブ大江戸月島のクラブマネージャーを務めている。先ほど話に挙げた校庭でのキャッチボールについては、地域スポーツクラブが担っていく。また、障害児・障害者を対象としたスポーツ・レクリエーション教室についても、地域スポーツクラブが関わっており、参加者人数が少ないことを課題としている。原因としては、先日の教室でも子どもが言っていたが、中央区の障害者対象のかえで学級の活動と教室の日程の重複が考えられる。来年度はその点を踏まえて、かえで学級と調整をしながら日程調整していく予定である。

－スポーツ課長－

- ・ 障害児・障害者を対象としたスポーツ・レクリエーション教室の日程については、15回分の会場を確保していかなければならないため、調整はしているが、どうしてもその他の事業と重複してしまうこともある。スポーツ課としてもできる限り調整していく。

○ 会長がその他の議題がないか確認し、特に議題は上がらず。

○ 会長から最後に事務局からの報告がないか確認。

○ 事務局（スポーツ課長）より、来年度から競技だけでなく、趣味や気分転換で身体活動の概念を含む「スポーツ」という言葉を用いて活動していくとのことで、中央区体育協会が中央区スポーツ協会と名称変更することを報告。

## 5 閉 会

○ 会長の閉会挨拶により終了